

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

### 課題名：もの忘れ外来を受診した患者の認知機能の推移に関する研究

#### 1. 研究の対象

2003 年 3 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までに当院精神神経科を受診され認知機能検査を施行された患者さんのうち、複数回、同様の認知機能検査を施行された方々および 2019 年 3 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに当院精神神経科を受診され認知機能検査を施行された患者を対象とします。

#### 2. 研究期間

研究実施許可日 (2020 年 6 月 9 日) ~2027 年 3 月 31 日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2020 年 6 月 23 日

提供開始(予定)日：該当なし

#### 4. 研究目的

近年、認知症は記憶障害のみならず様々な認知機能の障害を呈することが知られています。認知症とは、一度正常に発達した認知機能が後天的に障害され、日常生活や社会生活に支障を来すようになった状態を示しますが、その原因は様々です。また、認知症は進行性の疾患であり、その背景病理により疾患特有の症状が出現しやすいことが知られています。認知機能の精査はこうした特有の症状を検討し、医師が診断を下す上で有効なアセスメントツールであることが知られています。

本研究では、認知症における症状の特異性を検討するために、認知機能や、脳画像データの推移を検討するものです。推移を検討することによって、より有用な診断項目や検査項目を検討し、患者さんの診断、治療、予後の検討に役立てる事を目的としています。

#### 5. 研究方法

初回の認知機能検査と、2 回目以降の認知機能検査の得点の差異を継時的に検討します。また初回の認知機能検査の結果から、認知機能の障害のパターンやその進行パターンを類推します。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、診断名、性別、教育年数、Magnetic resonance imaging (MRI)、Single photon emission computed tomography (SPECT)、Mini-Mental State Examination (MMSE)、ウェクスラー式メモリースケール改訂版 (WMS-R) Logical memory I・II (LM I・II) 等

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

#### 9. 研究組織

本学単独研究です。

#### 10. 利益相反（企業等との利害関係）について

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

#### 11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

#### 12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院精神神経科 太田深秀

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：筑波大学附属病院 精神神経科 電話：029-853-3182 平日 9:00-17:00

当院の研究責任者：筑波大学附属病院 精神神経科 教授 新井哲明